

令和5年12月

## 令和6年度入学試験合格者の皆さんへ

名古屋芸術大学 教育学部  
学部長 溝口哲夫

教育学部子ども学科に合格された皆さん、誠におめでとうございます。教職員一同、心よりお祝い申し上げます。

さて、大学での学びが近づいてくる今、皆さんは一日一日をどのような想いでお過ごしでしょうか。子どもたちに寄り添い、子どもたちの教育や成長を支える立場を目指す方や、子育てをする保護者の良き相談者を目指す方など、様々な形で子どもに関わる社会人になる夢を、きっと膨らませていることだろうと思います。私たち教職員一同、皆さんの夢が叶うよう、精一杯努力していきます。

ところで、教育学部ではどのようなことを学ぶのかと、期待はもちろんのこと、不安も抱かれているのではないのでしょうか。教育学部における学びには、皆さんがこれまでに触れたことのない内容がたくさんありますが、それらの多くは、私たちの日常生活と密接にかかわっています。つまり、これまでに皆さんが経験してきた学びや体験、生活などを交えながら子どもたちへの理解や新しい知識・思考、スキル等を身につけていくことが、教育学部での大切な学びとなるのです。

そこで、入学後の学びをスムーズに開始し、深めていくために、次ページ以降の【入学前教育】課題に取り組むことをお勧めしたいと思います。

これらの課題は、皆さんがこれまでに蓄えた知識や経験を引き出して学びに役立てるとともに、皆さんが目指す将来に通じる楽しい学びへの入り口となるものです。ぜひ、前向きに取り組んでほしいと思います。

入学式で皆さんにお目にかかることを、教職員一同、楽しみにしています。

### 【お問い合わせ先】

名古屋芸術大学教育学部子ども学科（担当：磯和）

E-mail: [nua-edu+pre@nua.ac.jp](mailto:nua-edu+pre@nua.ac.jp)

# 令和6年度入学生対象 教育学部子ども学科 入学前教育

次の3つの課題を、期日までにメールまたは郵送で提出してください。

## 【提出先】

メールの場合：nua-edu+pre@nua.ac.jp

※タイトルは<【入学前教育】受験番号>とすること。

郵送の場合：〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地

名古屋芸術大学 教育学部 入学前教育係

## 課題1：入学前にやりたいこと（入学準備だけでなくお楽しみも含めて）をリストアップして計画を立てる。

目的：4月から大学での学びが始まります。大学での生活に備えて、入学前にやりたいこと（やるべきこと・やっておきたいこと）を整理し、実行しておくことで、入学前までの期間を悔いなく過ごし、大学生活に切り替えることができます。まずは、入学前にやりたいことのリストを作成し、4月までにどんなことができるかの計画を立ててみてください。

リストにするものには、大学での学びに備えて準備しておくだけでなく、お楽しみ（例：友人と旅行に行く、読みたかった漫画を読むなど）も含めることが大切です。やるべきことと、やりたいことのバランスをとって、日々の生活を過ごすことは、大学に入ってから生活を送るためのとても大切な練習になります。計画どおりにいかなかった場合、なにがうまくいかなかったのかを考えることができますし、計画どおりにいった場合は、時間や体力等の見積もりが正確だったことが確認できます。

大学に入ってから、これまでの生活より、自分でスケジュールを設計することが一層重要になります。その練習と考えると、まずは計画を立ててみてください。

- 取組方：1. 合格通知が届いた日から3月31日までにやりたいことのリストを作る。このときには、思いつく限りの項目を挙げてみる。
2. リストに優先順位をつける。
  3. 実際に3月31日までに取り組む計画を立てる。リスト内容のすべてをこなそうと考えるのではなく、優先順位に従ってできることとできないことのバランスをとって計画を立てる。
  4. 計画をカレンダーや用紙、PCのファイルなどにまとめる。〆切までに作成したリスト（取組方1で作成したもの）と計画のコピーを提出する。なお、提出物には受験番号と氏名を記載すること。
  5. 計画に従って、3月31日までの日常を過ごす。

※リストや計画の様式は自由ですが、ひな形を1つ用意しましたので参考にしてください。

- ・教育学部入学前課題1\_リスト [Word ファイル](#) [PDF ファイル](#)
- ・教育学部入学前課題1\_カレンダー [Word ファイル](#) [PDF ファイル](#)

提出日：令和6年1月31日（水）必着（2月受験者は同年2月29日（木）必着）

**課題2：教育者・保育者・支援者にとって必要な資質や技術とはどのようなものか、そして今後の教育者・保育者・支援者に求められる資質や技術にはどのようなものがあるのかについて、自分の考えをまとめる。**

目的： 本課題の目的は、あなたが大学での学びを始めるまえに、これから自分が身につけていく・身につけていきたい資質や技術について整理し、意識することにあります。これに取り組むことは、大学での学びをより豊かにします。

あなたはどのような教育者・保育者・支援者になりたいでしょうか？ また、そのためにはどのような資質や技術が必要でしょうか？ 本学で本格的に学び始める前に、今のあなたが考える教育者・保育者・支援者にとって必要な資質や技術とはどのようなものか、そして今後の教育者（小学校教員）・保育者（幼稚園教諭・保育所保育士等）・支援者（児童養護施設・障害児施設・学童保育等職員）に求められる資質や技術にはどうあるべきかについて、「教育者」「保育者」「支援者」からひとつ選び、800字程度でまとめてください。まだ進路が定まらない方は、複数を取りあげてそれぞれ800字程度でまとめてもらって構いません（例えば、教員になるか保育士になるかまだ迷っている場合、教育者について400字程度でまとめたもの、保育者について400字程度でまとめたものの2つを提出いただいて構いません）。

ここで考えた内容が、4月からのあなたの学びをガイドしていくひとつの指針になります。もちろん大学で学ぶなかで変わっていくこともあるかも知れません。しかし、初心をしっかりとまとめて記しておくことの意義は非常に大きいです。

※これまでの生活経験、知識や学んだことも生かしながら、まとめるようにしましょう。

- 取組方：1. 用紙に作成した内容を踏まえたタイトルと自分の受験番号・氏名を記述する。
2. 上記の内容について、段落分けを使いながら800字程度でまとめる。複数に取り組んでもよい。
- ※PCで打てる人はwordで打って、プリントアウトして郵送するか、メール添付して送る。手書きがよい人は、レポート用紙または原稿用紙に書いて郵送する。

提出日：令和6年2月29日（木）必着

**課題3：あなたが興味を持った教育・保育・子どもに関連する記事を読み、まとめる。**

目的： 大学での学びを豊かなものにするために、次の2つを知ることが大切です。

ひとつは、現在の社会で起こっていることについて知ることです。教育や保育、福祉のあり方は、社会の動向から少なからず影響を受けています。そのため、教育や保育、福祉について学ぶ際に、現在の社会で起こっていることを知っているか、知らないでいるかでは、学びの深さが違ってきます。

もうひとつは、あなた自身が教育・保育・子どもについてどのような関心を持っているかを知ることです。大学での学びは、自身の興味・関心を深めていくことでもあります。

この2つを知るためには、ニュース番組を見たり、新聞やWebに掲載される記事に目を通したりして、興味を持った記事を収集してまとめてみるのが有効です。しかしながら、この習慣は簡単に身につくものではありませんし、忙しい中

ではおろそかになってしまいがちなことでもあります。

そこで、この課題への取り組みを通して、社会の動向に目を向ける習慣を身につけてください。そして、自身の興味・関心を知ったうえで、大学での学びに取り組む準備を整えてください。

※これまでの生活経験、知識や学んだことも生かしながら、読み、まとめるようにしましょう。

- 取組方：1. 新聞や Web に掲載されている教育・保育・子どもに関する記事のうち、気になるものを集める。  
2. 集めた記事を読む。  
3. 集めた記事から、最も興味・関心を持った記事ひとつについて、以下のア～エに従ってまとめる。  
ア) 用紙に作成する要約のタイトルと自分の受験番号・氏名を記述する。  
イ) 何月何日に、どのメディア（新聞名や web サイト名など）で見つけた、どのようなタイトルの記事であるかを記述する。  
ウ) その記事がどのような内容であったのかを 300 字程度でまとめる。  
エ) その記事を読んで、考えたことや感じたことを 500 字程度でまとめる。  
※PC で打てる人は word で打って、プリントアウトして郵送するか、メール添付して送る。手書きがよい人は、レポート用紙または原稿用紙に書いて郵送する。なお、読んだ記事のコピーか URL も提出すること。

提出日：令和 6 年 3 月 25 日（月）必着

#### 【提出先】

メールの場合：nua-edu+pre@nua.ac.jp

※タイトルは<【入学前教育】受験番号>とすること。

郵送の場合：〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井 281 番地  
名古屋芸術大学 教育学部 入学前教育係

**【入学前の学びに関する推奨事項】※課題ではありませんが、ぜひ取り組んでください。**

#### ◆推薦図書の購読を行う。

本学で本格的に学び始める前に、教育・保育・支援・子どもの基礎等についての書籍に触れ、入学後の学習の見通しを持つことをお勧めします。特に、子どもとはどんな存在であるのか、どんな存在だと自分は考えているのかについて考えることは大切です。大学での学習では、教育・保育・支援・子どもに関する理論的な事柄と実践的な事柄との両方を学び、その両方を融合させていくことが大切になります。そして、学習の基礎となる理論的な事柄についての学びを進める方法のひとつが、「書籍（文献）を読むこと」です。そこで、入学前に読んでおくとよいと考えられる書籍をいくつか紹介しますので、興味がある書籍を読んでみてください。なお、書籍リストはこの書類の最後にあります。

#### ◆子どもを惹きつけ、子どもと一緒に楽しめる活動を身につける。

教育や保育、福祉の現場で働く際には、子どもの前に立つ機会がたくさんあります。子ども（小学生または3歳以上）と一緒に楽しめる活動を多く身につけておくこと、教育者・保育者としての技術の引き出しを増やしておくことは、教育・保育実践の中でのあなた自身を助けてくれることにつながります。

### 【例】

- ・弾き歌い（ピアノ・オルガンなど）や楽器演奏、独唱
- ・絵本や紙芝居の読み聞かせ
- ・手を使った遊び（手遊び、指遊び等）
- ・制作したもの（粘土、折り紙、切り紙、絵画等）についてのプレゼンテーション
- ・体操やダンス
- ・その他、自分で工夫したもの

### ◆「春を呼ぶ芸術フェスティバル」の雰囲気を感じる。

教育学部では、毎年「春を呼ぶ芸術フェスティバル」を開催しています。学部の在学生が、地域の幼児や小学生及びその保護者にも芸術の楽しみを味わってもらえるようにと、日頃の学習や活動の成果を工夫し、パフォーマンスや音楽活動を披露しています。今回は、令和6年2月4日（日）に、名古屋芸術大学東キャンパス3号館ホールで開催する予定です。

このフェスティバルの様子は、YouTube（限定配信・期間限定）でも視聴できるようにする予定です。その様子を観ていただくことで、芸術大学の中にある教育学部の良さを知っていただくことができると思います。

詳細は追って連絡いたします。教育者・保育者を目指す先輩達の熱演をご覧ください。

### ◆中学校までの教科内容の復習に取り組む。

教育者になるにせよ、保育者になるにせよ、支援者になるにせよ、子どもとかかわっていくなかでは中学校までの教科内容の知識が求められることが多くあります。実際、教員採用試験や保育職公務員試験、一般公務員試験等では、中学校までの教科の知識が「教養として」求められます（これは一般的な就職活動でも同じです）。中学校までの教科内容は、教育学部での学びの基礎となります。ぜひ、入学までの間に中学校までの教科内容をひとつおくり復習しておいてください。なお、復習にお薦めの書籍を「お薦め書籍リスト」にも記載しておきました。

### ◆大学への入学から卒業後の進路までを見据えてみる。

皆さんは教育者・保育者・支援者を志して本学に入学されることと思います。本学での学びを始める前に、あなたの将来の進路（目指す将来の姿）や、将来就きたいと考えている職業（教員・保育士・福祉の仕事など）について、“なぜその職業に就きたいのか”、“その職業に就いてどのようなことを大切にしていきたいのか”をもう一度まとめ、初心を形にしておくことをお薦めします。そして、将来を見据えて、大学生として学びたいことや取り組みたいこと（自己課題）を考えてみてください。

また、あなたが将来就きたいと考えている職業（教員・保育士・福祉の仕事など）について、その職業が具体的にどのような仕事や活動を行っているかを調べ、まとめてみることもお薦めします。例えば、小学校教諭の仕事は単に「授業をすること」だけでしょうか？ 保育士は、子どもが帰った後にどんなことをしているのでしょうか？

入学後、本格的な学びが始まる前に、将来就きたいと考えている職業についての理解を広げ、その職業へのイメージを自分なりに描いてみてください。この取り組みは、大学での学びを薦めていくうえでの原動力となります。

## お薦め書籍リスト

### ◆ 小学校教育

- ・大村 はま 『新編 教室をいきいきと 1』 1994年 ちくま学芸書房 1,100円
- ・NHK「こども」プロジェクト 『4年1組命の授業』 2003年 NHK 出版 1,200円
- ・金田一 清子 『子どもの笑顔に会いたくて』 2015年 新日本出版社 1,600円
- ・行田 稔彦ほか 『いのち輝く』 2008年 ルック 2,000円 (26人の教員が各教科・教室実践をまとめた本。全部読まなくても興味ある実践を読むだけでも勉強になります)

### ◆ 保育・幼児教育

- ・佐久間 路子 『子どもの「こころ」をのぞいてみよう』 2021年 ぎょうせい 1,540円
- ・平松 知子 『子どもが心のかっとうを超えるとき』 2012年 ひとなる書房 1,600円
- ・中河 李枝子 『子どもはみんな問題児。』 2015年 新潮社 1,000円
- ・針生 悦子 『赤ちゃんはことばをどう学ぶのか』 2019年 中公新書ラクレ 820円

### ◆ 福祉

- ・『施設で育った子どもたちの語り』 編集委員会 『施設で育った子どもたちの語り』 2012年 明石書店 1,760円
- ・村岡 真治 『障害児の人格を育てる放課後実践』 2018年 全障件出版社 1,500円
- ・安部 芳絵 『子どもの権利条約を学童保育に活かす』 2020年 高文研 1,800円

### ◆ 芸術

- ・上野 行一 『五感をひらく 10のレッスン — 大人が愉しむアート鑑賞』 2014年 美術出版社 990円

### ◆ 子ども学・一般

- ・太田 直道 『揺れる子どもの心』 三学出版 1,320円
- ・池上 彰 『世界を変えた 10人の女性』 文春文庫 759円
- ・エレノア・ポーター・作 菊島 伊久栄・訳 『少女ポリアンナ』 偕成社文庫 990円 (同名の作品であれば、この出版社でなくても構いません)
- ・モンゴメリ・作 村岡 花子・訳 『赤毛のアン』 新潮文庫 781円 (同名の作品で小中学生向けでも構いません)
- ・ウェブスター・作 松本 恵子・訳 『あしながおじさん』 新潮文庫 (同名の作品で小中学生向けでも構いません)
- ・檀 ふみ 『父の縁側,私の書斎』 新潮文庫 649円

### ◆ 中学校までの復習

- ・旺文社(編集) 『高校入試 中学3年間の総復習 5科』 2021年 旺文社 1,045円
- ・濱崎 潤之輔 『改訂版中学校3年間の英語が一冊でしっかりわかる本』 2020年 かんき出版 1,320円
- ・小杉 拓也 『改訂版中学校3年間の数学が一冊でしっかりわかる本』 2021年 かんき出版 1,100円
- ・宮路 秀作 『改訂版中学校の地理が一冊でしっかりわかる本』 2021年 かんき出版 1,375円
- ・重野 陽二郎 『改訂版中学校の歴史が一冊でしっかりわかる本』 2021年 かんき出版 1,375円
- ・蔭山 克秀 『改訂版中学校の公民が一冊でしっかりわかる本』 2021年 かんき出版 1,375円
- ・森 圭示 『中学校の理科が一冊でしっかりわかる本』 2021年 かんき出版 1,430円